

中央大学特定課題研究費 ー研究報告書ー

所属	法学部	身分	教授
氏名	宮丸 裕二		
NAME	Yuji Miyamaru		

中央大学特定課題研究費による研究期間終了に伴い、中央大学学内研究費助成規程第15条に基づき、下記のとおりご報告いたします。

1. 研究課題

英国人作家が見る東アジア像

2. 研究期間

2020・2021・2022年度 ※2022年度は新型コロナウイルス感染症特例対応により1年間延長

3. 費目別収支決算表

掲載省略

4. 研究の概要（背景・目的・研究計画・内容および成果 和文 600字程度、英文 50word程度）

（和文）

本研究では、近世から近代にかけて帝国主義を展開した代表的な存在であるイギリスが、それまでの西洋世界にとって未知であった地上の多くの地域や文化をどのように記録し、どのように捉えたかに注目した。大英帝国の宗主国としてのイギリスがその植民地を眺めるまなざしについては、その政治的な関係のためにある種固定化しており、またポストコロニアリズム批評と呼ばれる一群の研究によって考察されてきている。本研究では、大英帝国の支配圏の下に組み込まれることのなかった当時の未知なる地域についてイギリス人がどのように捉えたのかを明らかにすることに焦点を定めて考察した。

その結果、大英帝国に組み入れられていない日本、タイ、インドネシアといった国や地域への眼差しを主にフィクションの中を探し、ウィリアム・サマセット・モームや、ラディヤード・キプリングの著作を通じて、植民地下の地域を描く際との認識の違いを、文化に原始性を認めるか否か、西洋人の理解に届くものと認識しているか否か、植民対象と見ているかそれとも植民し得ない異世界として見ているかといった各観点から分析した。

（英文）

This research explores how Britain, a representative force of imperialism from the early modern period to the modern era, recorded and captured many regions and cultures on earth that had not been known to the Western world until then. In this, I focused on clarifying how the British perceived the unknown regions of those days, as were not included under the territorial rule of the British Empire.

I sought mainly in the works of fiction to look at countries and regions such as Japan, Thailand, and Indonesia. It was analyzed from each point of view, such as whether or not the culture is recognized as primitive, whether or not it is recognized as something that reaches the understanding of Westerners, whether it is viewed as an object for colonization or as a different world that cannot be colonized.